

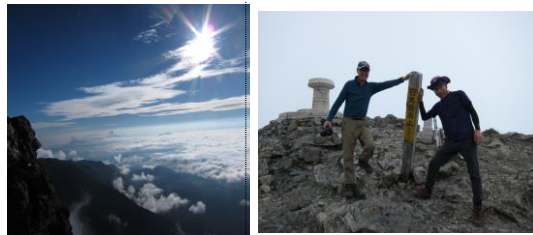
萌黄 (もえぎ) 通信



みなさま、お元気ですか？
朝夕は涼しくなってすっかり秋らしい季節です。地元山梨では窓を開けて眠ると朝には、寒さで目を覚ますことが多くなってきました。その為、風邪気味で咳が止まらない堀内貢次です。

白馬岳登山、蓮華温泉ルート

先日、白馬岳登山に行ってきました。本来は、人気のあるコースの大雪渓ルートで登りたかったのですが、台風の影響で濃霧の為、新潟県の蓮華温泉ルートでの登山になりました。尾根伝いで登るルートは雪渓とは無縁で更に、登山道もしっかりして非常に登りやすいルートでした。山小屋は、悪天候の予報の影響で宿泊客も



少なく、部屋内は二人つきりでした（こんなことは初めてです）。しかも、厚い雲の上の頂上は、時折、晴れ間も出て想像以上の楽しい登山となりました。

「マンション内の池の御影石壁に付着した水アカ」

今月の石材メンテナンスは、あるマンションの外構に池があり19年間、赤御影石立ち上がりの壁部分は洗浄の対象外だったため、水アカが帯状の層になってしまった現場からです。

池の水は防藻対策で塩素系の薬剤が入っていて、夕方には、ポンプを止めるため多少水位が下がります。その為、19年の経年で帯幅が8cmにもなっていました。

本施工はまず、スクレーパーを使用して、水アカの厚い層に対して物理的に削っていきます。全体的にケレン掛けしたら、最後に新刃に替え、除去出来なかった薄い水アカの層を更に取り除いていきます。

指で触れて、水アカのザラザラ感が無くなったら次にダイヤモンドを取り付けハンドポリッシャーで赤御影石表層を研磨していきます。最後は十分に乾燥させてから防汚を兼ねた

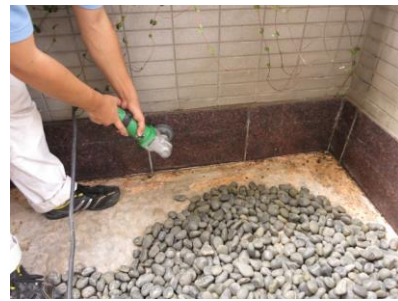
ウェットコートを塗布して完了しました。赤御影石磨き仕上げ本来の深みが復活しました。



1. 水アカが帯状に付着



2. スクレーパーにて物理的除去



3. ダイヤにて最終仕上げ



4. 仕上がり.

赤御影石バーナー、風除室の経年変化の汚れ

ある施設の風除室床石には数十年の汚れが付着して、赤御影石が黒光りしています。汚れのメインは、モップ拭きの全体汚れです。テスト洗浄で本来の赤味が復元しました。



(編集後記) セメントの二次製品の油抜きや、テープシミ抜きの依頼が最近増えて来ました。天然石より吸水性が高いため完全除去が難しく、現時点の研究課題です。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp